

自己評価シート【碑住区センター児童館】

1、福祉サービスの基本方針と組織

1-1 理念・基本方針

1-1-1 (1) 理念、基本方針が明文化（児童館内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等））され周知が図られている。	
【判断基準】 (a) 児童館の理念、基本方針が適切に明文化されており、職員、利用者等への周知が図られている。 (b) 児童館の理念、基本方針が明文化されているが、内容や周知が十分ではない。 (c) 児童館の理念、基本方針の明文化や職員、利用者等への周知がされていない。	
【自己評価】	実践例（取組や記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	児童館のパンフレットやホームページ等で施設の基本理念を提示している。 また、利用者に対し施設の使い方や事業紹介を丁寧に行っている。 さらに、子ども会議の内容を館内に掲示することで、子どもたちだけでなく、保護者・地域の方々にも子どもたちの意見を館運営に反映させていることを周知し、児童館としての考え方を伝えている。
1-1-2 (2) 理念、基本方針の確立・周知について	
良いと思う点	改善が必要だと思う点
<ul style="list-style-type: none"> ● ホームページやパンフレットに子どもにもわかりやすい言葉に置き換えて児童館の施設特性を掲載している。 ● 子どもたちの意見を取り入れたプログラムの実施に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 職員全員が理念、基本方針を理解した上で日々の活動にあたっていきたい。

2、児童館の活動に関する事項

2-1 児童館の理念・目的及び施設特性

2-1-1 (1) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。	
【判断基準】 (a) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。 (b) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいるが、十分ではない。	

(c) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a) <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針を基に、法人の理念と合わせて年間計画を立てている。
2-1-(2)	
児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の施設特性を發揮している。	
【判断基準】	
(a) 児童館の施設特性を發揮している。	
(b) 児童館の施設特性を發揮しているが、十分ではない。	
(c) 児童館の施設特性を發揮していない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者が一人でも来館しやすい環境作りに努め、状況に応じて他の児童や保護者とつながれるように働きかけている。職員は利用者と積極的に関り、信頼関係の構築に努めている。 ● すべての子どもたちが児童館で安心して過ごせるよう、環境整備、子どもたち同士の関係性にも留意して見守っている。 ● クラフトルームを毎日開室し、子どもの活動の機会の幅を広げている。
2-1-(3)	
子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	
【判断基準】	
(a) 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	
(b) -	
(c) 子どもの権利擁護に関する取組が十分ではない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもに寄り添い、話を聴くことを意識し、一人ひとりに合った対応を心がけている。 ● 日常で差別的な言葉や暴力があった際は、その都度職員が入り、互いに尊重し合える場づくりに努めている。
2-1-(4)	
児童館の理念・目的及び施設特性について	
良いと思う点	改善が必要だと思う点
<ul style="list-style-type: none"> ● すべての事業において、児童館の理念、目的に照らし合わせ事業の目的を確認している。 ● 異年齢の子どもたちが交流できる場になっ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 中高生の利用が少ないため、中高生への周知、ニーズ調査、やりたいことができる場として活用してもらえよう働きかける必要がある。

<p>ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 利用者の中で、児童館がフラッと立ち寄れる居場所となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域との連携について、さらなる努力が必要。
--	---

2-2 遊びによる子どもの育成

<p>2-2-(1)</p> <p>子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。</p>	
<p>【判断基準】</p> <p>(a) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。</p> <p>(b) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っているが、十分ではない。</p> <p>(c) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解していない。</p>	
<p>【自己評価】</p>	<p>実践例（取り組みや記録等）</p>
<p><input checked="" type="checkbox"/> a)、<input type="checkbox"/> b)、<input type="checkbox"/> c)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 日常のあらゆる場面で、職員が子どもたちに意図的な関わりを行っている。 ● 子どもの様子やトラブルなどは日報に残し、職員間で共有することで、共通認識を持って対応するようにしている。 ● 個性等も把握し、一人ひとりに寄り添った関りをするように努めている。
<p>2-2-(2)</p> <p>子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。</p>	
<p>【判断基準】</p> <p>(a) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。</p> <p>(b) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしているが、十分ではない。</p> <p>(c) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしていない。</p>	
<p>【自己評価】</p>	<p>実践例（取り組みや記録等）</p>
<p><input type="checkbox"/> a)、<input checked="" type="checkbox"/> b)、<input type="checkbox"/> c)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「こども会議」や「プレイルームでの遊び決めの話し合い」、「子どもプロジェクト」（子どもが自ら企画した事業を職員の支援のもと運営する事業）などを通して、子どもの主体性を大切にし、やりたいことを実現できるように心がけている。 ● 環境的な面で不可能なことも多い。変えられないマイナス面を、どうプラスに変えていくかが今後の課題だと感じる。 ● 地域との合同のお祭りでは、子どもたちが考えたお店を自分たちで準備して当日も運営したことで達成感があり、お祭り後もやりたいことの見がよくなるようになった。

2-2-(3)	
子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助している。	
【判断基準】	
(a) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助している。	
(b) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助しているが、十分ではない。	
(c) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるような援助を行っていない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	<ul style="list-style-type: none"> ● プレイルームでは、色々な学年の子たちが集まり、みんなで遊びを決めて遊んでいる。子ども同士で上手くできない時やトラブルの際は、職員が入り声掛けをしてサポートしている。 ● 遊びに来た幼児に小学生が積極的に関り、遊んでいる姿が見られる。 ● クラフトルームでの造形活動において子ども同士がお互いの作品に影響を受けながら自分の作品を創作していく機会を設けている。 ● 2人以上で行うボードゲームをたくさん用意することで、知らない子ども同士でもいっしょに遊ぶ機会を設けている。
2-2-(4)	
遊びによる子どもの育成について	
良いと思う点	改善が必要だと思う点
<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもたちの遊びの幅や発想が広がるよう、工作プログラムを定期的に変えている。 ● 一人で遊びに来てても職員の声かけによって他児との遊びにつなげることができている。 ● 職員は子どもたちと積極的に関り、遊びを通して関係を築いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 中高生と関りを持ちたい小学生が多くいるが、定期的な中高生の利用が少ないため、中高生の居場所としての発信が必要だと感じている。 ● 子どもの「やりたい」を引き出し、またそれを実現できるような援助ができるよう、職員の技術の向上を目指す。

2-3 児童館の安全管理

2-3-(1)	
緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	
【判断基準】	
(a) 利用者の安全確保のために、体制が整備され機能している。	
(b) 利用者の安全確保のために、体制が整備されているが、十分に機能していない。	
(c) 利用者の安全確保のために、体制が整備されていない。	

【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
☑a)、□b)、□c)	<ul style="list-style-type: none"> ● 「安全管理・危機管理マニュアル」を作成し、火災発生時、地震等災害発生時、不審者対応、食物アレルギー対応などについての対応策を整備している。 ● 嘔吐物処理セット、救急箱の中身の点検を定期的におこなっている。
<p>2-3-(2)</p> <p>利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。</p>	
<p>【判断基準】</p> <p>(a) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集し、要員分析と対応策の検討を行い実行している。</p> <p>(b) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集しているが、要員分析と対応策の検討が十分でない。</p> <p>(c) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集していない。</p>	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
☑a)、□b)、□c)	<ul style="list-style-type: none"> ● 開館準備時に館内清掃・環境整備・施設点検を行い、事故やケガを未然に防ぐことに努めている。また閉館時には乳幼児ルームのおもちゃの消毒・点検を行っている。 ● 施設面で気が付いたことがあった場合は、早急に児童館係、南部地区サービス事務所と連絡を取り対応している。 ● 日々のヒヤリハット事例を業務日誌に残し、また改善策の共有を図っている。